

行政視察等報告書

令和 5 年 11 月 27 日

境港市議会
議長 荒井 秀行 様

会派名 境港市議会公明党議員団
代表者 田口 俊介



下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和5年11月24日（金）
2 視察等先 及び内容	早稲田大学マニフェスト研究所出張講座 『これからの地方議会のあり方を考える』 ～今の議会改革を超える議会活動～ 会場：隼 Lab. 鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2
3 視察等議員	田口 俊介
4 総 経 費	合計 6,190 円 （研修参加費、ガソリン代実費） ※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て
5 所 見 等	別紙のとおり

内容：【これからの地方議会のあり方を考える～今の議会改革を超える議会活動～】

【概要】

＜第一部＞

マニフェスト研究所 中村 健 事務局長 「地方議会の現状と課題」

- ・自分のまちの最大の課題は何か、その最大の課題に対し、議会はどのような活動をしているか、また、住民は議会に関心を持っているのか、議員の成り手は？など、参加者（議員）に投げかけながら、住民参加を進めている全国の地方議会の事例を紹介（北海道福島町議会の議員活動の自己評価の公開、埼玉県寄居町議会の議会広報、長野県飯綱町議会の議会政策サポーター、東京都町田市議会の請願、陳情者との意見交換、岡山県新見市議会の新見高校と協働しての陳情提出、長野県高森町の全庁あげての子育て支援など）。こうした取り組みを始めている議会もあるが、我が町の議会はどうか。危機感を持たないと、「今後 IT 技術は進化、人口は減少。議員の成り手もなく、住民も議会をあてにしてせず...そんな地方議会は本当に必要か」との問題提起があった。

基調講演 マニフェスト研究所顧問 北川正恭名誉教授

「これからの地方議会のあり方を考える」

- ・地方を変えるのは地方議会。そして、地方が国を変える。よく議会質問などで執行部に対し『お願い』や『要望』するが、せめて『提案』に変えよう。
- ・地方分権一括法が 2000 年に施行され、地方は自己決定・自己責任で、地方のことは地方で決める事になった。この地方分権時代に入って、議会の役割は監視機能だけではダメ。それは議会の機能の一部に過ぎない。議会の役割は『民意の反映』。その為には、旧態の打破が必要。「役所（執行部）は『法律・規則』に基づいて事業（施策）を行う。これは前例主義。平均点を取るやり方。議会は『制度・ルール』が現状にあってなければそれを変えられる。条例制定。これが噛み合って二元代表制が機能する。
- ・議員活動から、党派や会派の壁を乗り越え『議会活動』の活性化を。

＜第二部＞

パネルディスカッション

中村 健 事務局長（コーディネーター）

北川正恭 名誉教授

尾島 勲 八頭町議会議長

中村聡志 八頭町地域おこし協力隊員

①今の議会は地域住民にとって、どのような存在か

（中村隊員）都会と比べると議員（議会）との物理的な距離はものすごく近いが、活動の中身はよくわからない。

②地方議会の課題は

（尾島議長）「事務局体制の強化」など内なる部分の課題がある。

(北川名誉教授) 定数や報酬の削減などの「量的削減」は『改革』ではなく、大事なのは『質的改革』。また、『事務局の体制強化』や『議員間討議の実施』などは改革の為の条件整備に過ぎない。目的は『民意の反映、住民福祉の向上』である。

(中村隊員) 議会活動の中身をどれくらい本気で伝えようとしているのか。例えば、喫茶店をオープンしたらお客さんに来てもらう為にあらゆる努力をするはず。議会は住民(お客さん)に来てもらう為に何をしているのか?

③これからの地方議会に求められていることは

(尾島議長) 以前受けた研修での講師の『いつまで御用聞きでいるのか、議会はポリシーメーカーになるべき』という言葉が心に残っており、そのスタートラインに議員が立つことが必要。

(北川名誉教授) マニフェスト運動も20年やってきたが、大事なのは『善政競争』であり、その為には他の自治体(議会)の良い取り組みは『TTP(徹底的にパクる)』すること。議員は特定の人意見を聞いて質問・要望するがそれだと議員の個人的意見と扱われてしまう。これを議会全体でオーソライズする為『議員間討議』が必要。

(中村事務局長) 議会間討議を活発化する為には、ダイアログ研修やファシリテーション研修も必要。

④何故、それは今まで実現しなかったか

(中村隊員) 政治やまちおこしに関心はある。自分はこのまちに魅力を感じている(だから移住した)が、その魅力や町の文化などの衰退に『どうしてこうなるんだろう』という思いがある。それは議員をはじめ、住民にも感じて欲しい。住民の中に(人口減に対する)『諦め』を持っている人が多いのでは。

(北川名誉教授) その思いをぜひ議会と共有し、議会とコラボしてまちおこしを!

【所感】

パネルディスカッションの後は、参加された各議会の議員から活発な質疑応答があり、自分も昨日聞いた他の講演の『ブランディング』というキーワードが議会改革にも当てはまるのではないかという考え方を北川名誉教授にお伺いしたところ、「何かひとつのことに対するブランディングに取り組むと、様々な問題点が見えてきて結果的に全体に波及していくので、その意味からは「ブランディング」は必要との見解を示していただきました。

今日の講座も糧にして、境港市議会の機能強化とブランディングを進めていきたいと思えます。

報告者 : 田口 俊介